

## 【名称】自動車用変速機構(マニュアル、オートマチック併用車)

【実用新案】第3012727号

【新技術】マニュアルトランスミッションとオートマチックトランスミッションとが、必要に応じて切り替え可能とした変速機を搭載した自動車です。

【従来技術】マニュアル車は運転技術を駆使して、シフトダウンによる適時にエンジンブレーキ使用、アクセル操作によるスピン防止など、運転技術を駆使した安全なスポーツドライブを楽しむことが可能ですが、渋滞時や都心での信号の多い道路の運転には適さない。信号待ち等での停止、スタートの繰り返しが必要な道路では、オートマチック車がいいです。その両方の利点を適時に選択して走行できる自動車を提案するものです。変速機とは2速以上の変速ギアなどを有する機器であり、2速の手動変速機を搭載した車両を、2速マニュアル車と言います。

【実用新案】

名称 自動車用変速機構

実用新案 第3012727号

### 【A】インターネット検索

1. 「特許・実用新案検索-特許電子図書館IPDL」入力 → 検索 → クリック
2. [1] 特許・実用新案公報DB → クリック
3. 「文献種別」-「U」「文献番号」-「3012727」入力  
「文献番号照会」→クリック
4. 「実登3012727」→クリック

文言説明

### 【変速機】

変速機とは、エンジンの回転数を変換して駆動系へ伝達する機器であり、一般的にエンジン側のギアと変速機側のギアの組み合わせにより、そのギアの大小により、エンジンの回転数を変えて駆動系へ伝達する目的の機器です。

変速とは、例えば、第一速(ロー)変速比から、第二速(セカンド)変速比へ変えることであり、つまり、変速比を変えることが「変速」です。又、エンジン回転を変速して駆動系に伝達をする構造を変速機構と言います。

例えば、第一速の変速比が「2.804」の車両の場合、エンジン回転が2.804回転するとき、タイヤが1回転するのが基準です。つまり、第一速走行の場合、駆動力が大きく、スピードが遅い走行になります。又、第三速の変速比が「1.000」の場合、エンジン回転とタイヤ回転が同回転を基準とします。

変速機には手動変速機(マニュアルトランスミッション)と自動変速機(オートマチックトランスミッション)があり、マニュアルトランスミッションを搭載した車両をマニュアル車と言い、オートマチックトランスミッションを搭載した車両をオートマチック車と言います。